

本巣市民文化ホール便り



生涯学習のまち 数学のまち ウォーキングのまち 伝統文化を受け継ぐまち もとす 令和8年度8月号

文楽の日 国指定重要無形民俗文化財「真桑人形浄瑠璃上演」

8月9日に本巣市民文化ホールにおいて、国指定重要無形民俗文化財の真桑人形浄瑠璃を上演します。文楽の日として平成30年より毎年8月に上演しています。

真桑人形浄瑠璃は、俗称真桑文楽とも呼ばれ、旧真正町の本郷地域、現在の本巣市上真桑本郷地域に約350年前から伝わる郷土芸能です。古来、幕府直轄のこの地域は、根尾川水域にあってしばしば干害に悩まされてきました。また灌漑用水の取水量を巡り、真桑、席田両用水に属する村々では利害が対立し、寛文年間には論争が絶えず、この争論の解決のために私財をなげうって江戸幕府に井水制度の設立に尽力したのが、上真桑村の井頭・福田源七郎でした。源七郎の功績に報



いるため、恩恵にあずかった村々から資金を出し合い、彼が江戸から最後に帰郷した日を選び、操人形芝居「義農源七郎」を上演したのがその創始と伝えられています。この演目は、いつか途絶えましたが、2001年に「真桑誉美濃源七郎 水争いの段・初真桑の段」として復活、毎年祭礼で上演されています。

また、本郷地域の物部神社境内にある常設の人形舞台（船底式）は、国の重要有形民俗文化財に指定されており、指定文化財を含む貴重な「頭」は80個余りにも及びます。3月には、この人形舞台で真桑文楽保存会主催の奉納上演があります。脈々と350年余り伝承されてきた真桑人形浄瑠璃を是非8月9日文化ホールでご覧ください。入場整理券は、文化ホール他市内公民館で配布しております。

夏休みの思い出づくりには「奇想天外おもちゃの楽隊」ヒネモスの音楽会！！

夏休みが終わる後半の思い出づくりに、8月23日開催の「奇想天外おもちゃの楽隊」ヒネモスの音楽会はいかがですか？10名のヒネモスのメンバーが、様々な楽器を駆使して、世界中のどこかでありそうでありそうにもないお祭りをオリジナルな音楽でお届けする、タイトルにあるように何が出てくるのか楽しみなまさに奇想天外な音楽会です。見ているだけではない参加型の楽しいプログラムが用意されています。どんな内容かイメージできるように、文化ホールで短い動画を文化ホールロビーの大型モニターご覧いただけます。是非ファミリーでご参加頂きたい企画です。



日 時 8月23日(日) 開演 14:00 開場 13:30

入場料 全席指定 一般 1,500円 小学生以下 500円 3歳未満保護者膝上に限り無料

チケット販売所 本巣市民文化ホール 9:00~16:00 席が選べます。

休館日(月曜日、月曜祝日の場合翌日)を除く

チケットぴあ(Pコード:326-266)手数料必要。

当日券(500円UP)もあります。

《8月のイベント開催情報》

開催日	催し物	対象	主催者・問合せ先等
8/5(水)	MSサミット	関係者	北方警察署生活安全課
8/9(日)	文楽の日「真桑人形浄瑠璃上演」	一般	社会教育課
8/23(日)	ヒネモス「奇想天外おもちゃの楽隊」音楽会	一般	本巣市民文化ホール
8/25(火)	教職員夏季研修会	関係者	学校教育課

※詳細につきましては主催団体にお尋ねください。